



まちの未来をみんなで考えてみよう ～みちたろうTOわくわくトーク～

11月9日になすしおばらまなび博覧会と同日開催で行われた、みちたろうTOわくわくトーク(高校生との意見交換会)。今回初めて開催されたこのイベントでは、「若者が将来このまちに帰ってきたいと思うために必要なものはなにか」というテーマで市長と高校生によるワークショップが行われました。高校生からは「音楽ライブができる場所」「インスタ映えるもの」など、若者視点のアイデアが数多く出されました。



1 高校生からの質問に答える市長。高校生も真剣な表情で聞き入る 2 副市長もグループに入り、高校生と意見を出し合った 3 ユーモアあふれる発表で、会場は大いに盛り上がった 4 この日は市内4校23人の高校生が参加



子どもも大人も一緒に楽しく学ぼう！ ～なすしおばらまなび博覧会～

周囲の木々が色づき始めた宇都宮共和国那須キャンパスで、11月9、10日に行われたなすしおばらまなび博覧会。昔あそびやアウトドア体験ができる子どもフェスタやALT English Festival、気象予報士らを招いた講演会、化石探し体験など、さまざまなイベントが同時開催されました。また、会場には市内の小中学生が作った絵画や工作が一堂に展示され、多くの親子連れでにぎわいました。



1 おっかなびっくり、生きものと触れ合おう 2 子どもたちの力作が並ぶ作品展 3 ボーイスカウトによる火おこし体験。竹ひごの焼き切れる早さを競う 4 緊張した面持ちで乗馬体験 5 保存会の皆さんによる豪快な餅つき



テーマは森のクリスマス ～三島地区自然体験塾～

11月16日三島神社で行われた自然体験塾。子どもと地域の大人が一緒になって楽しい時間を過ごそうと17年前から始まったもの。71回目となった今回も、「つくる」「あそぶ」「たべる」の3つのテーマで開催され、73人が参加しました。「つくる」では、木の実や枝などを使ったクリスマスリースなどを制作。小さい子どもでは作業が難しい部分は、中学生や大人が手伝う光景もみられ、素敵な作品が出来上がりました。



立派なお芋がとれたよ！ ～波立小 芋掘り～

11月13日に波立小で行われた芋掘り。縦割り班に分かれて、全校児童112人が参加しました。先生の合図で一斉にスタートすると、大きく実り、深く根を張った芋に悪戦苦闘する子どもたち。しかし、班ごとにスコップをうまく使って、協力しながらあっという間に掘り終えてしまいました。5年生の増子湧哉さんは、「30cmを超える大きな芋がとれた。おうちで天ぷらにして食べたい！」と嬉しそうに話してくれました。



みんなの夢をのせて ～パークヨガ&パプリカ～

市ブランドメッセージ「エールなすしおばら～夢が動き出すまち～」のPRの一環として、11月9日に旧青木家那須別邸前の広場で行われたヨガ&パプリカイベント。この日は多くの親子連れが集まり、ヨガで自然の素晴らしさを感じたり、パプリカダンスを踊ったりしました。イベントの最後には、パプリカのテーマ「明日に種をまこう」にちなみ、夢を書いた紙と花の種を付けたカラフルな風船を飛ばし、大盛況のうちに幕を閉じました。



季節の移ろいを感じながら力走 ～第14回那須塩原ハーフマラソン～

本市の秋の風物詩となっている那須塩原ハーフマラソン。14回目を迎えた今年は、ハーフのほか、5km、2km、1.5km、1kmの全種目合計で1,500人のランナーが完走を果たしました。本市出身でゲストランナーの渋谷陽子選手は「地元開催で知り合いも多く、気の抜けないレースだった。台風19号の影響が県内でも出ているのでマラソンを通じて応援していきたい」と地元への思いと今後の抱負を語ってくれました。